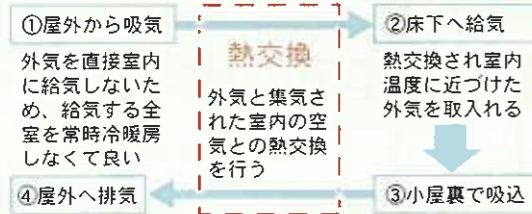


●空気循環の流れ



■住宅を長持ちさせる国興システム

外張り断熱とハイブリッド換気システムの組み合わせが構造体のなどの健康を保ち、住宅を長く使うことを可能にします。(特許出願中)

■省エネルギー・快適空間

国興システムが家中の温度差を和らげる・外気温に影響されにくい・新鮮な空気を取り入れるなど快適な空間を与えてくれます。少ないエネルギーで夏は涼しく、冬は暖かくを可能にします。

■維持メンテナンスの容易な構造

床下・屋根裏などの空間も住む人が容易に保守点検を行うことができるようになっています。

■生活の変化・家族の変化に対応

躯体の外側で断熱を行っているため断熱材や気密層をあまり傷つけることなく改修することができます。

■お引き渡し後、資金計画を含めた維持管理サポートの充実

お引き渡し後、始まる新しい生活の中で資金計画を含め維持管理のさまざまなお手伝いをしていきます。

「国興ホーム 超長期住宅信州・松本モデル事業」概要

超長期住宅先導的モデル事業始動

今回超長期住宅先導的モデル事業に提案するきっかけは、まさしくその事業趣旨です。「いいものをつくって、きちんと手入れして長く、大切に使う」というストック社会における住宅のあり方について、具体的内容の提案が求められました。

日本は、高度経済成長を経て、GDPや賃金などに関しては世界最高の水準でありながら、国民生活においては、住宅ローンをはじめとする支出が多いなどの理由から、欧米諸国に比べ、なかなか豊かな生活を実感できない現状があります。それにあわせ、地球環境問題や、少子高齢化といった様々な社会不安が横たわっています。

世代をまたいで住宅の長寿命化を図ることで、「つくっては壊す」フロー消費型の社会から、「いいものをつくって、きちんと手入れして、長く大切に使う」ストック型社会への転換をはかり、地球温暖化対策の一翼を担うと共に、最終的には、「ゆとり」ある豊かな生活の実現へ繋がっていくのだと思います。

これは、弊社がこれまで取り組んできた姿勢、企業理念、また、これから目指す方向性、全てにおいて合致する部分が多いため、これを機に、弊社工法をもう一度多角的に分析し、建てた後の生活を支援する仕組みを考え、提案書としてまとめ、応募しました。

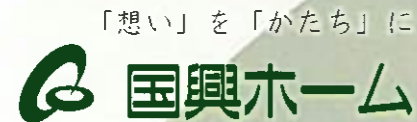
結果は、全国603件応募があり、採択は全部門で40件。40件中新築住宅戸建部門は24件採択され、長野県で弊社の提案がはじめて選ばれました。

参考資料:200年住宅ビジョン(平成19年5月)

不安定な時代だからこそ、しっかりとしたもの、足下を確かめながら、未来を創る。

国土交通省「第1回超長期住宅先導的モデル事業」に「国興ホーム 超長期住宅信州・松本モデル事業」が長野県ではじめて選ばれました。

200年住宅構想 第1回超長期住宅先導的モデル事業



〒 399-0027 松本市寿南1丁目7-22
 ☎ 0263-58-2095
 Fax 0263-58-2015
 ✉ cocco@pop01.odn.ne.jp
 🌐 http://www1.odn.ne.jp/cocco/

国興ホーム

株式会社 国興 田中一級建築士事務所 有限会社 田中製材所

国興システム(特許出願中)[外張り断熱+スカイシステムの組み合わせ]で冬暖かく、夏涼しい住宅。信州の厳しい自然と共に生活できる住宅、お客様一人一人の生活・それぞれの家族の形にあわせた間取り・デザインをご提案致します。和洋問わず将来のライフスタイルの変化やご家族の成長に合わせた増改築も可能です。また、一般住宅に限らず医院・アパート・店舗・オフィスなど様々なスタイルをご提供しています。



国興ホームの住宅(標準装備)

- 外張り断熱工法(21年の実績!)
- ハイブリッド換気システム
- 構造計算(許容応力度)
- 木造軸組工法

外張り断熱+ハイブリッド換気システムを標準装備 信州の自然と共に生きる

国興ホーム 超長期住宅信州・松本モデル事業

信州・松本は、北アルプスを望む山岳都市であり、近隣を森林に囲まれた自然環境に恵まれた地域です。一方、冬期は積雪や凍結、夏期は、近年のヒートアイランド現象で真夏日を超える日が増えている傾向が見られ、年間を通しての寒暖差が大きい上に、比較的湿度の低い気候のため、1日の中での外気温の変化も大きく、空気が澄んでいるために日本有数の紫外線の強い土地柄でもあります。

この地域の厳しい自然環境を克服し、その自然を最大限生かしながら、健康的で快適に世代を超えて長く使える住宅にするために、弊社では、木造住宅で最も大切な木材において欠点とされる、「腐る」「狂う」といった課題を克服するシステムと工法(「外張り断熱工法」とハイブリッド換気システム)を融合させた独自のシステム(以下、国興システム(特願2008-124010)と略します。)を、21年前から開発研究を続けてきました。「住宅」としてのハードな面で、この国興システムを軸に提案し、あわせて、「生活」というソフトの面で、住み始めてからの維持管理・メンテナンスについて、維持管理計画書や積立金のシステムを提案し、地域(信州・松本)のモデル住宅として実際建築し、様々な形で公開していきます。

いままでの工法を土台に少しの工夫、そして、ソフト面でのサポートを加えて。